



2021年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年8月4日

上場会社名 グンゼ株式会社

上場取引所 東

コード番号 3002 URL <https://www.gunze.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 廣地 厚

問合せ先責任者 (役職名) コーポレートコミュニケーション部長 (氏名) 小倉 誠

TEL 06-6348-1314

四半期報告書提出予定日 2020年8月11日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第1四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第1四半期	25,689	24.8	315	80.1	564	67.6	287	
2020年3月期第1四半期	34,168	1.6	1,584	15.8	1,740	23.5	998	48.9

(注) 包括利益 2021年3月期第1四半期 464百万円 (648.4%) 2020年3月期第1四半期 62百万円 (95.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第1四半期	16.21	
2020年3月期第1四半期	55.24	54.96

(注) 当第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第1四半期	162,889	107,648	65.1	5,973.53
2020年3月期	166,633	109,139	64.6	6,061.10

(参考) 自己資本 2021年3月期第1四半期 106,095百万円 2020年3月期 107,566百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期				115.00	115.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)				115.00	115.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	131,000	6.6	4,500	33.3	4,500	34.5	2,100	52.1	118.26

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期1Q	19,293,516 株	2020年3月期	19,293,516 株
期末自己株式数	2021年3月期1Q	1,532,609 株	2020年3月期	1,546,409 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期1Q	17,751,467 株	2020年3月期1Q	18,076,889 株

自己株式数には「グンゼグループ従業員持株会専用信託」が保有する当社株式数を含めて記載しております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
(4) 利益処分に関する基本方針及び当期の配当	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)	10
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

(当期の経営成績)

当第1四半期連結累計期間(2020年4月1日～2020年6月30日)における日本経済は、新型コロナウイルス感染症の拡大による外出自粛、休業要請等に加えて、緊急事態宣言発令の影響により、個人消費や企業活動が著しく制限され、景気は急速に悪化しました。緊急事態宣言は解除されたものの、感染リスクが残る中で、経済活動の制限や自粛が続き、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループでは、中期経営計画「CAN20計画第2フェーズ」において、『集中と結集』をコンセプトに、「セグメント別事業戦略」「新規事業創出」「経営基盤強化」の3つの基本戦略への取り組みを進めておりますが、新型コロナウイルスの世界的感染拡大が、当社グループに大きな影響を及ぼしていることから、中期経営計画「CAN20計画第2フェーズ」の最終年度を2022年3月期まで1年間延長し、2020年度はその影響を最小限とする取り組みを最優先と致します。

新型コロナウイルス感染症の拡大によって、機能ソリューション事業は、海外販売を中心に影響を受けました。アパレル事業は、成長販路であるEコマースでの大幅な販売拡大を進めましたが、休業や店舗販売の不振をカバーできませんでした。またライフクリエイト事業は、スポーツクラブの臨時休館等の影響を大きく受けました。

その結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は25,689百万円(前年同期比24.8%減)、営業利益315百万円(前年同期比80.1%減)、経常利益は564百万円(前年同期比67.6%減)となりました。また、スポーツクラブ施設や商業施設等の休業期間中の固定費(人件費・賃借料・減価償却費等)等を「新型コロナウイルス感染症による損失」として特別損失に計上したことから、親会社株主に帰属する四半期純損失は、287百万円(前年同期は998百万円の利益)となりました。

(セグメント別の概況)

<機能ソリューション事業>

プラスチックフィルム分野は、包装用フィルムが内食需要で好調に推移しましたが、収縮ラベル用フィルムは外出・イベント自粛により飲料向けが低迷し、また輸出関連が総じて苦戦しました。エンジニアリングプラスチックス分野は、一般産業向け製品は堅調に推移しましたが、OA機器向け製品が苦戦し、全体では低調に推移しました。電子部品分野は、中国でのサプライチェーン停滞によりタッチパネルの販売が減少しました。メディカル分野は、新型コロナウイルス感染症の拡大による医療機関の手術延期等の影響を受け、国内及び海外販売が減少しました。

以上の結果、機能ソリューション事業の売上高は11,472百万円(前年同期比12.1%減)、営業利益は1,104百万円(前年同期比7.8%減)となりました。

<アパレル事業>

アパレル事業全体では、緊急事態宣言の解除後は、回復基調となっているものの、休業や外出自粛等による店頭販売の不振が大きく影響しました。インナーウエア分野は、ECチャネルが自社運営店舗を中心に好調に推移しましたが、全般に苦戦しました。レッグウエア分野は、外出自粛のなか、特にストックの着用機会が大きく減少し苦戦しました。

以上の結果、アパレル事業の売上高は11,837百万円(前年同期比32.1%減)、営業損失は223百万円(前年同期は974百万円の利益)となりました。

<ライフクリエイト事業>

不動産関連分野では、ショッピングセンター事業において、新型コロナウイルス感染症の拡大による商業施設の休業や営業時間短縮の影響を受けました。スポーツクラブ分野は、緊急事態宣言や休業要請に伴う臨時休館の実施、及び感染不安からの休会者・退会者増加等の影響を大きく受けました。

以上の結果、ライフクリエイト事業の売上高は2,517百万円(前年同期比33.4%減)、営業利益は143百万円(前年同期比25.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

総資産は、162,889百万円となり、前連結会計年度末に比べ3,744百万円減少しました。主な増加要因は、商品及び製品の増加2,540百万円、プラスチックフィルム分野でのベトナム新工場稼働等による建物及び構築物の増加2,027百万円及び機械装置及び運搬具の増加1,919百万円であり、主な減少要因は、受取手形及び売掛金の減少4,279百万円、新工場稼働等による有形固定資産その他の減少4,306百万円(建設仮勘定等)、政策保有株式の売却等による投資有価証券の減少1,583百万円であります。

負債は、55,241百万円となり、前連結会計年度末に比べ2,253百万円減少しました。主な増加要因は、コマーシャル・ペーパーを含む長短借入金が増加2,021百万円であり、主な減少要因は、支払手形及び買掛金の減少2,487百万円、賞与の支払いによる賞与引当金の減少914百万円であります。

純資産は、107,648百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,490百万円減少しました。主な増加要因は、その他有価証券評価差額金の増加919百万円であり、主な減少要因は、配当による減少2,042百万円、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上による減少287百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年5月14日公表の2020年3月期決算短信では、新型コロナウイルス感染拡大が当社グループの業績に与える影響について、合理的に算定することが困難であることから連結業績予想を未定としておりましたが、政府の「緊急事態宣言」解除以降、経済活動再開の動きが見えてまいりましたので、現時点において入手可能な情報に基づき以下の通り連結業績予想を算定いたしました。

新型コロナウイルス感染拡大は当社グループの事業活動に大きな影響を及ぼしております。今後の見通しにつきましては、個人消費に持ち直しの動きがみられるものの、新型コロナウイルス感染拡大が都市部を中心に広がりを見せるなど、依然として予断を許さない状況が続くと思われま。

2021年3月期の連結業績予想を策定するにあたっての主な前提条件は、政府の「緊急事態宣言」と同程度の経済活動の制約が今後発生せず、事業環境が2021年3月までに緩やかに回復していくと仮定したもので、新型コロナウイルス感染症の広がりや収束時期によって変動する可能性があります。

(通期連結業績予想)

(百万円、%)

	2021年3月期 通期連結業績 (予想)	2020年3月期 通期連結業績 (実績)	増減	
			金額	増減率
売上高	131,000	140,311	△9,311	△6.6
営業利益	4,500	6,746	△2,246	△33.3
経常利益	4,500	6,868	△2,368	△34.5
親会社株主に帰属する当期純利益	2,100	4,387	△2,287	△52.1

(セグメント別通期連結業績予想)

(百万円、%)

		2021年3月期 通期連結業績 (予想)		2020年3月期 通期連結業績 (実績)		増減	
		金額	ウエイト	金額	ウエイト	金額	増減率
売上高	機能ソリューション	52,200	39.6	56,361	40.0	△4,161	△7.4
	アパレル	67,000	51.0	69,491	49.4	△2,491	△3.6
	ライフクリエイト	12,300	9.4	14,945	10.6	△2,645	△17.7
	小計	131,500	100.0	140,798	100.0	△9,298	△6.6
	消去	△500		△487		△13	—
	連結合計	131,000		140,311		△9,311	△6.6
営業利益	機能ソリューション	5,000	64.1	6,120	60.9	△1,120	△18.3
	アパレル	2,400	30.8	2,743	27.3	△343	△12.5
	ライフクリエイト	400	5.1	1,187	11.8	△787	△66.3
	小計	7,800	100.0	10,052	100.0	△2,252	△22.4
	消去	△3,300		△3,306		6	—
	連結合計	4,500		6,746		△2,246	△33.3

(4) 利益処分に関する基本方針及び当期の配当

当社グループは、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要政策と位置づけ、連結配当性向50%程度を目安に、中期的な業績見通しに基づき、安定的・継続的な利益還元を実現してまいります。

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受け、当期は大幅な減益予想としておりますが、これらの影響は一時的なものであり、中期的な業績見通しについては従来と大きく変えていないこと、および総還元性向100%の範囲内の見込みであることから、当期の配当につきましては、1株当たり115円に据え置くことを予定しております。

なお、2020年度の自己株式取得については、新型コロナウイルス感染拡大第2波のリスクが払拭できていないことから、不測の事態に備えた資金確保を優先し、当面は見送りとさせて頂く予定です。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	9,267	8,972
受取手形及び売掛金	28,099	23,820
商品及び製品	21,857	24,397
仕掛品	6,672	6,916
原材料及び貯蔵品	4,487	4,614
その他	3,997	3,604
貸倒引当金	△5	△4
流動資産合計	74,377	72,320
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	39,699	41,727
機械装置及び運搬具（純額）	9,455	11,374
土地	12,287	12,281
その他（純額）	6,478	2,172
有形固定資産合計	67,921	67,555
無形固定資産	1,774	1,681
投資その他の資産		
投資有価証券	15,591	14,007
その他	7,038	7,392
貸倒引当金	△69	△67
投資その他の資産合計	22,560	21,333
固定資産合計	92,256	90,569
資産合計	166,633	162,889

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2020年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,271	7,783
短期借入金	5,513	5,615
コマーシャル・ペーパー	6,600	8,800
1年内返済予定の長期借入金	560	1,331
未払法人税等	635	305
賞与引当金	1,437	523
その他	9,249	9,162
流動負債合計	34,267	33,521
固定負債		
長期借入金	11,973	10,921
退職給付に係る負債	5,446	5,232
長期預り敷金保証金	4,965	4,908
その他	840	657
固定負債合計	23,227	21,719
負債合計	57,494	55,241
純資産の部		
株主資本		
資本金	26,071	26,071
資本剰余金	6,701	6,701
利益剰余金	84,351	82,021
自己株式	△6,727	△6,635
株主資本合計	110,397	108,158
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△2,617	△1,697
繰延ヘッジ損益	57	30
土地再評価差額金	△45	△45
為替換算調整勘定	507	263
退職給付に係る調整累計額	△731	△614
その他の包括利益累計額合計	△2,830	△2,063
新株予約権	187	187
非支配株主持分	1,385	1,366
純資産合計	109,139	107,648
負債純資産合計	166,633	162,889

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年6月30日)
売上高	34,168	25,689
売上原価	23,790	17,528
売上総利益	10,378	8,161
販売費及び一般管理費	8,794	7,845
営業利益	1,584	315
営業外収益		
受取利息	9	11
受取配当金	317	291
固定資産賃貸料	121	121
為替差益	—	13
その他	52	61
営業外収益合計	501	500
営業外費用		
支払利息	55	40
固定資産賃貸費用	106	114
為替差損	70	—
その他	112	97
営業外費用合計	345	252
経常利益	1,740	564
特別利益		
固定資産売却益	8	0
投資有価証券売却益	—	659
負ののれん発生益	21	—
特別利益合計	30	659
特別損失		
固定資産除売却損	15	3
投資有価証券売却損	—	658
関係会社株式評価損	84	—
新型コロナウイルス感染症による損失	—	836
その他	4	71
特別損失合計	105	1,570
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	1,664	△346
法人税等	604	△84
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,060	△262
非支配株主に帰属する四半期純利益	62	25
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	998	△287

四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,060	△262
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,280	919
繰延ヘッジ損益	△34	△26
為替換算調整勘定	180	△283
退職給付に係る調整額	134	116
その他の包括利益合計	△998	726
四半期包括利益	62	464
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△16	478
非支配株主に係る四半期包括利益	78	△14

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	機能ソリュー ション事業	アパレル事業	ライフクリエ イト事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	13,019	17,397	3,751	34,168	—	34,168
セグメント間の内部売上高 又は振替高	34	46	29	111	△111	—
計	13,054	17,444	3,781	34,280	△111	34,168
セグメント利益	1,197	974	193	2,365	△781	1,584

(注)1 セグメント利益の調整額△781百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、当該費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年6月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結損 益計算書計上 額 (注)2
	機能ソリュー ション事業	アパレル事業	ライフクリエ イト事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,403	11,795	2,490	25,689	—	25,689
セグメント間の内部売上高 又は振替高	69	42	26	138	△138	—
計	11,472	11,837	2,517	25,827	△138	25,689
セグメント利益 又は損失(△)	1,104	△223	143	1,024	△708	315

(注)1 セグメント利益又は損失(△)の調整額△708百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、当該費用は報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。